

児童・教職員・保護者アンケート結果 対照表
 (赤:目標値達成 青:数値が大きく低い)

児童			
	評価項目	達成指標	AB評価
1	自分の考えを伝えたりノートに書いたりしている。	AB90%	90%
2	習った漢字や計算を理解している。	AB85%	88%
3	むずかしい問題や課題にがんばって取り組んだ。	AB90%	91%
4	「桃小っ子の約束」や月目標を守った。	AB90%	91%
5	相手の気持ちを考えた声掛けができている。	AB90%	92%
6	学校の中や行き帰りで、先生や友だち、地域の方に「自分から」あいさつができている。	AB90%	86%

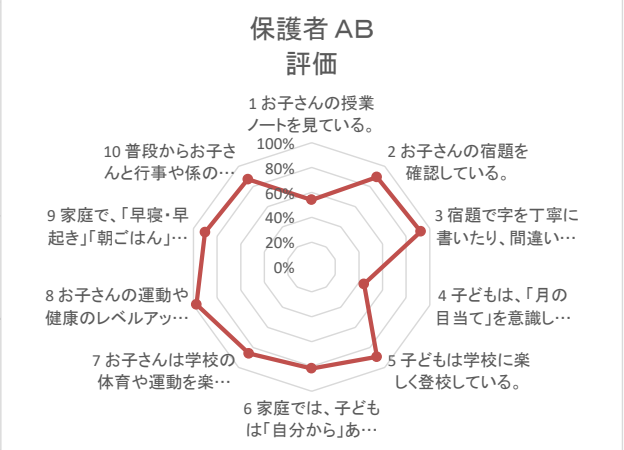
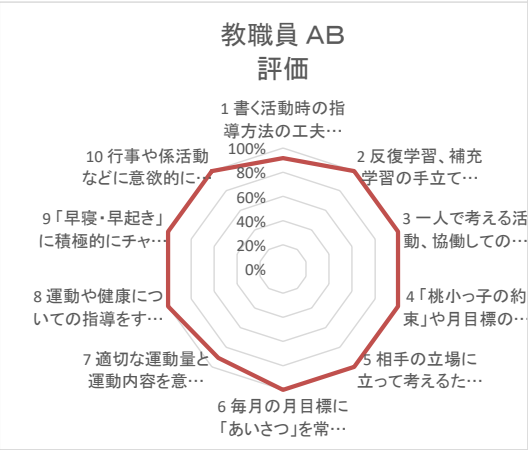
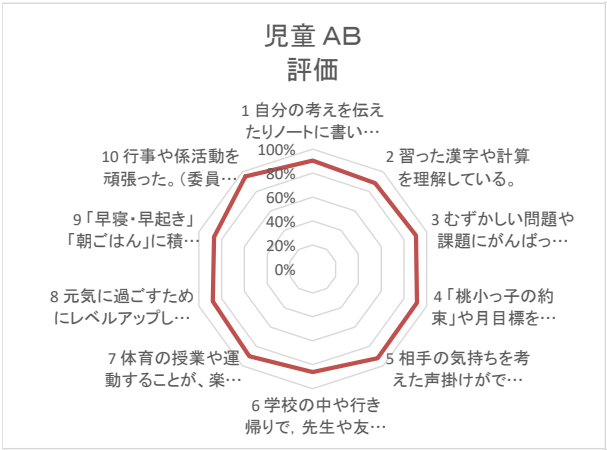
7	体育の授業や運動することが、楽しい。	AB90%	90%
8	元気に過ごすためにレベルアップしようと、月ごとの「名人」に積極的にチャレンジすることができた。	AB90%	88%
9	「早寝・早起き」「朝ごはん」に積極的にチャレンジした。	AB85%	87%
10	行事や係活動を頑張った。(委員会・当番など)	AB85%	95%

教職員			
	評価項目	達成指標	AB評価
1	書く活動時の指導方法の工夫ができた。	AB90%	92%
2	反復学習、補充学習の手立ての工夫ができた。	AB85%	100%
3	一人で考える活動、協働しての取り組み時間を確保できた	AB90%	100%
4	「桃小っ子の約束」や月目標の指導を確実に行った。	AB90%	100%
5	相手の立場に立って考えるための交流活動や体験活動の充実を図り、認め合う集団作りに取り組んだ	AB90%	100%
6	毎月の月目標に「あいさつ」を常に位置づけ継続的に挨拶指導を行った。	AB90%	100%

7	適切な運動量と運動内容を意識しながら体育の授業ができた。	AB90%	91%
8	運動や健康についての指導をするとともに、月ごとの「体力レベルアップ」に子どもたちが進んで取り組むよう指導した。	AB90%	100%
9	「早寝・早起き」に積極的にチャレンジするように利点や効果を折に触れて指導した。	AB85%	100%
10	行事や係活動などに意欲的に参加できる場を設定し、進んで取り組むように指導した。	AB85%	100%

保護者			
	評価項目	達成指標	AB評価
1	お子さんの授業ノートを見ている。	AB90%	54%
2	お子さんの宿題を確認している。	AB85%	89%
3	宿題で字を丁寧に書いたり、間違いをやり直すよう声かけをしている。	AB90%	92%
4	子どもは、「月の目当て」を意識して過ごしている	AB90%	44%
5	子どもは学校に楽しく登校している。	AB90%	89%
6	家庭では、子どもは「自分から」あいさつができている。	AB90%	82%

7	お子さんは学校の体育や運動を楽しみにしている。	AB90%	86%
8	お子さんの運動や健康のレベルアップを応援している。	AB90%	97%
9	家庭で、「早寝・早起き」「朝ごはん」の生活習慣に積極的に取り組んでいる。	AB85%	90%
10	普段からお子さんと行事や係の話をしている	AB85%	87%



【考察】

【知】

児童については、評価が高いが、教員から見ると「そんなに高いだろうか？」と思う数値である。本当の意味で、子どもが向き合える授業をし、漢字や計算ができている実感の持てる復習・補充学習に取り組む。

教師の「書く活動時の工夫」は、今年度は「振り返り」を書く時の項目を示す指導を全員で行うように提案している。この点ができていればよいと考える。

保護者の「お子さんの授業ノートを見ている」は、恒常的に見ていなければ、ABはつけにくいのかもしれない。月に1回宿題として、ノートを見てもらう日を全校で取り組んでいく。

【徳】

児童アンケート6「あいさつ」は、教職員からの声かけを引き続き行い、子どもが「自分から」あいさつできていると感じられるように、積極的にほめて認めていくことを継続する。また、「毎日、先手あいさつ5人以上」を目指し、帰りの会で確認する。

教職員は、AB評価が100%なので、引き続き進めていく。

保護者アンケート4「月の目当て」は、「帰りの会」や「児童集会」などの取り組みを学年通信に掲載し、家庭でも「月の目当て」を話題にできるよう情報を提供していく。

保護者アンケート5「楽しく登校」は、日々の学習活動や「人間関係プログラム」など認め合う集団作りに引き続き取り組んでいく。

保護者アンケート6「あいさつ」は、年間を通して月の目当てに位置付けられている。特に各学期の初めの月は、「あいさつ」だけを目当てにしているので、学年通信を通して、「自分から」を意識して「あいさつ」をするよう、家庭でも呼びかけをしてもらう。

【体】

児童アンケートでは、「運動が楽しい」や「早寝、早起き」などよくできていると回答しているが、「早寝、早起き」は児童の実態を見るとできていない。養護教諭などを中心になぜ大切なのか話をする。「月ごとの名人」については授業の初めに取り入れて積極的にチャレンジできるようにする。

保護者アンケートの7は、保護者へ聞いているので「お子さん『は』」ではなく「おこさん『の』」と言葉を変える。

教職員については、このまま引き続き取り組んでいく。